

建築

実施日：平成30年10月14日～21日

於：米国（サンフランシスコ、バークレー、シカゴ）

■ 派遣専門家



手塚 貴晴

手塚建設事務所代表

1987年武蔵工業大学卒業。1990年ペンシルバニア大学大学院修了後、ロンドンの建築事務所での4年間の勤務を経て帰国。1994年に夫婦で手塚建築企画（97年に手塚建築研究所に改称）を設立。子供のための空間設計を多く手がけており、東京都立川市の「ふじようちえん」は、日本建築学会賞、日本建築家協会賞、OECD（世界経済協力機構）/CELE（効果的学習環境センター）の学校施設好事例集（第4版）最優秀賞、UNESCOの世界環境建築賞等を受賞。母校の武蔵野工業大学にて教鞭を執る他、2009年から東京都市大学教授。

■ 事業概要

● サンフランシスコ、バークレー



カリフォルニア大学バークレー校での講演、学生指導



アカデミー・オブ・アート大学でのインタビュー、学生指導

● シカゴ



シカゴ建築センター視察



シカゴ美術館付属大学での学生指導



イリノイ工科大学での学生指導

■ 実施結果

建築家の手塚貴晴さんが米国の北カリフォルニアとシカゴを訪問。カリフォルニア大学バークレー校やサンフランシスコのアカデミー・オブ・アート大学、摩天楼発祥の「建築の街」シカゴのイリノイ工科大学、シカゴ建築財団、シカゴ美術館付属大学等にて講演や学生指導を行いました。講演会には建築関係者や学生のみならず、医学や教育学の専門家も参加。議題は日本の先端建築や空間設計、技術論から、哲学や科学の重要性にまで及び、質疑応答では建築と子供の発育の関係性、都市や公共空間のあり方等について闊達な議論が交わされました。また、各大学では学生による建築プロジェクト作品を手塚さんが講評。事業後も、手塚さんの論文や日本研修等のやりとりが続き、本事業は交流の端緒を開き、関係者との人脈構築・強化に繋がりました。